

# さくらだより

vol. 45

2024年9月20日発行



## 三和鋼産 千葉 大地



(前編の続き)

鉄骨・鍛冶工事での大きな現場を経験するなかで、仲間との絆を深め、成長を遂げていった株式会社三和鋼産の千葉大地。2023年7月にさくら株式会社との協業がスタートし、会社は新たなステージに立ったが、千葉にとって目の前の仕事に全力を尽くすというスタンスは変わらない。そのなかで感じる仕事のやりがいや、新たな可能性とは。

### 「新発見」が現場の面白さ

いくつもの現場を経験してきた千葉。福島県の火力発電所の電気集塵機の更新工事は、工期の1か月間、遠方の現場まで通い続けたため体力的にもかなりきつかったと振り返る。それでも、努力した分だけ還元があるのが三和鋼産の良いところだ。大切な家族のためにも、モチベーションを高めて現

場に臨んできた。

鉄骨・鍛冶工事の面白さは、何といっても数多くの人とコミュニケーションを取りながら仕事を進めていけることだという。

「話し合いをしていると『そういう方法もありますね』と、新たな発見が出てきます。自分が知らなかった方法を学べるのも、この仕事の醍醐味の1つでしょう」。

同じ工事の内容であっても、会社や職人によってゴールまでの道のりはさまざまだ。まだ見ぬ新たな「道」の先には、もしかしたらさらに効果的な方法が待っているかもしれない。

### 目的意識を持って作業をする

若いころは、先輩の仕事を見様見真似で覚えたり、休憩時間を使って自己研鑽をしたりしてスキルを高めていった。少しでも早く一人前になりたいとの思いが、自

わなければならぬと、千葉は肝に銘じている。

休日は、3人の子どもたちと遊ぶことが何よりのリフレッシュだという千葉。特に次男はサッカーが好きで、よく家の近くの小学校で練習に付き合っている。身体を動かし、心身ともに英気を養った後は、再び仕事へと向き合っていく。飽くなき向上心を胸に、今日もまた、千葉は新たな挑戦を続けていくのだ。

### 「負けたくない」という気持ちで原動力に

千葉の向上心の源泉にあるのは競争心である。向上心を持っていなければ、自分のスキルは現状維持のまま。しかし周りの仲間は、次々に先へと進んでいく。気を抜けば置いていかれるというプレッシャーは、千葉の心に火をつける着火剤となり、日々の研鑽に向かうエネルギーへと変わっていった。

そのなかで心がけてきたのは、わからないことが出てきたら臆せず質問をするということ。経験年数が長くなればなるほど「わからない」と言うのが恥ずかしくなり、相談を飲み込んでしまうかもしれない。しかし、より良い仕事をしたいと思えば、そのような余計なプライドは捨て置くことが肝心だ。立ち止まっている暇などないのである。

「自分が成長できたのは皆さんの影響のおかげです」と振り返る千葉。切磋琢磨できる仲間の存在

分の腕を上げていってくれたという。

「成長速度には個人差がありません。適当に仕事をしていれば、その程度のまま。自分の作業を振り返り、『次はこうしてみよう』と課題と改善策を考え続けていけば、あるとき、ふと『できるようになって』と感ずる瞬間がくるものです」。

一歩ずつ山道を登り続けていくと、気づいたときには高いところにまでたどり着いている。その道は平坦ではないが、それでも自分の成長を信じて足を動かし続けることで、見える景色があるはずだ。



▲既存鉄骨下地の改造中

### 企業情報

設立年：2012年4月  
年商：11.6億円  
※ 2022年3月決算時点



# 千葉 大地さんってこんな人!

2号連続で巻頭を飾った、三和鋼産の千葉さんの魅力をさらに深掘り!  
今野さんと佐藤さんに、お話を聞いてみました。



三和鋼産  
こんのまお  
今野 摩央さん

## 千葉さんとの関係性

上司と部下。平成30年に入社してからの付き合いで、今も同じ現場で作業しています。第一印象はパワフルな人で、いつまでも20代のようなバイタリティを持ち、現場でもきびきびと動かれている様子が印象的です。

## 千葉さんを一言で表すと?

### 教え方が上手!

頭の回転が早く、説明が上手でわかりやすく的確に教えてくれます。私も入社当時、仕事の大半を千葉さんに教えていただきました。基本的に穏やかな性格で、高圧的な伝え方ではないため、周りからも信頼されています。

## 思い出エピソード

一緒に出張に行くことが多く、出張先のスーパーでお得な商品を見つけると、2人ともテンションが上がります。特にお酒が好きなため、晩酌用の刺し身などの生物が割引になっているときは、2人で同じものを買うこともあります (笑)

### メッセージ

いつも勉強させていただいてます!引き続き色々教わりながら、頑張っていきたいと思っています。これからもどうぞよろしくお願ひします!

## 千葉さんとの関係性

高校からの付き合いが続く、地元の先輩です。出会った当時は「やんちゃ」なイメージでしたが、仲間思いの優しい先輩でした。当社への入社に際しては、私の方から千葉さんに声をかけました。

## 千葉さんを一言で表すと?

### 頼れる仕事人!

やらなければならないことがあれば、千葉さんがお休みの日であっても駆けつけてくださいます。仕事を優先して動いてくださる、ヒーローのような心強い方です。

## 思い出エピソード

最初の出会いは、高校時代でした。社会人になった今でも、仕事終わりに一緒にご飯を食べに行ったり、買い物に行ったりしています。

### メッセージ

健康には気をつけて。飲み過ぎには注意です!



三和鋼産  
さとう だいすけ  
佐藤 大祐さん

# お客様からいただいた嬉しいお言葉

お客様からのお言葉は、ときに学びを与えてくれ、ときに励みとなるもの。この企画では、お客様からもらった「嬉しいお言葉」とそこで得た気づきについてご紹介します。今回教えてくれたのは専務の千葉さん。その言葉は千葉さんの仕事の原動力に、そして仲間の頼もしさに改めて気づききっかけを与えてくれたようです。

## お客様からいただいた嬉しいお言葉

### 「最後に頼むべきは、やっぱりさくらだな！」

## お言葉をいただいた背景

### 初めての管理業務に対する労いと期待

約3年前、私がまだ現場で仕事をしていたときにいただいたお言葉です。そのお客様からは3か月に1回ほどのペースでご依頼をいただいていたのですが、ときには緊急対応をお願いされることも。「現場に人が足りない!」などのヘルプ要請に、当初はお手伝い感覚で加わりますが、最終的に私たちが中心で仕事を納めていたことがほとんどでした。緊急対応が無事終了するとされるのが、「やっぱりさくらは間違いないな」などの感謝のお言葉。どれほど大変な依頼でも、最終的にこの言葉を言われると「やって良かった」と思ってしまうので、ずるいなあと思います (笑)



専務  
ちば しんや  
千葉 真也さん

## そのお言葉から得られたこと

### 自分だけでなく、「さくらのサービス」への確固たる自信を持た

1つは、自分の仕事への自信とやりがいに繋がったことです。常に自分の腕を信じて仕事はしていましたが、このようなお言葉を言われるたびに「また同じように満足してもらおう!」と気持ちが奮い立つのを感じていました。また、それは私が現場の仕事を離れてからも同様です。特に「さくらの人たちはスキルもあるし、礼儀正しい人が多いよね」と現場メンバーが褒められたときは、さくらのメンバーとサービスへの信頼と感謝の気持ちが溢れてきます。

## 仕事で大切にしている信念

### どれほど高い壁にも、前進あるのみ!

お客様の要望に対して、「できない」と言わないことです。実際これまで、お客様からの要望が何であろうと必ず対応してきました。中には大変な依頼もありましたが、配管工の仕事は結果が全て。「腕がない」と判断されると次がないため、がむしゃらに挑戦するしかありません。その挑戦の積み重ねがスキルアップややりがいに繋がり、結果的に嬉しいお言葉をもらえるほどのお客様との信頼関係に繋がったのだと思います。

## 今後の意気込み

### チームで勝ち抜く戦略を!

チーム力の強化が直近の課題です。配管工の仕事はチーム戦。単独では動けませんし、チームの連携がうまくとれてこそ力を発揮できます。現在は1課~3課までバラバラで動いている状態ですが、一致団結し、あらゆる現場で高いパフォーマンスの仕事ができるよう改革を進めます。